

まちづくりフォーラム in 千葉 2022

Machizukuri Forum in CHIBA 2022

あなたの力が千葉になる

千葉市グランドデザインを基に多くのプロジェクトが推進される中、今コロナ禍によるニューノーマルという新たなパラダイムシフトを迎え、都市再生のテーマと新たな価値の創造が求められています。

千葉の歴史、自然、経済、産業、福祉、教育など多くのカテゴリーから SDGs を念頭に『産・官・学・民』が一体となり、自らの再発見を模索し地域の振興や魅力あるまちづくりの推進をどのように捉え、どのような役割を担い、そしてどのように実現しうるのかについて、様々なジャンルの仲間と共に公開討議をしたいと思います。

本フォーラムは、神谷 俊一 千葉市長の（仮題）「千葉市のグランドデザイン」と題した基調講演とこれまでに千葉市内で実践された地域振興や魅力あるまちづくりの推進イベントの事例等を報告頂きながら、今後の千葉市がより一層魅力あるまちとなるための“フォーラム ディスカッション”とし、子ども達の未来へ繋げたいと思います。

2022
09 / 10
土曜日

参加費無料 定員 150 名
(事前申込不要・当日会場受付)

会場 千葉大学けやき会館 大ホール

時間 14:30~16:30 (開場 14:00)

主催：(一社) 日本建築学会 関東支部 千葉支所

共催：(公社) 日本建築家協会 関東甲信越支部 千葉地域会

後援：千葉県・千葉県教育庁・千葉市・千葉市教育委員会

(一社) 千葉県建築士会・(公社) 千葉県建築士事務所協会

(一社) 千葉県設備設計事務所協会・(一社) 日本建築構造技術者協会 JSCA 千葉

協賛：(公社) JIA 千葉 法人協力会・(公社) 千葉青年会議所

千葉幕張ロータリークラブ・千葉ネオライオンズクラブ

プログラム

- 14:00 開場
14:30 プロローグ
14:40 基調講演
神谷 俊一 千葉市長
15:10 パネルディスカッション
16:10 質疑応答
16:30 閉会

アクセス



お問合せ

(一社) 日本建築学会 関東支部
千葉支所
〒260-0013 千葉市中央区中央 4-8-5
千葉県建築会館(一社)千葉県建築士会内
TEL : 043-202-2100

(一社) 日本建築学会

建築に関する学術・技術・芸術の促進発展を目的とする法人。全国9支部36支所。会員は、研究教育機関、設計事務所、建設業、官公庁、公社公団、メーカー、コンサルタント、学生等多岐にわたる。

(一社) 日本建築家協会

建築の設計監理を行う千葉県内の建築家の個人及び団体。会員は、専業設計事務所の主宰者、共同者、所員、官公庁、学校等に所属する建築家。

パネラー

神谷 俊一 氏 (千葉市長) [基調講演]

愛知県出身。東京大学経済学部卒業後、1996年旧自治省に入省。1996年山梨県総務部市町村課。2001年在ヨルダン日本国大使館在勤。2004年佐賀県農林水産商工本部新産業課長、2006年同経営支援本部財務課長、2007年同本部副本部長。2008年総務省自治財政局財務調査課課長補佐。2010年佐賀市副市長。2012年、総務省自治行政局地域政策課理事官。2013年千葉市経済農政局経済部長、2014年同経済農政局長、2015年、千葉市副市長。2018年、消防庁国民保護・防災部広域応援室長。2019年、総務省自治行政局住民制度課個人番号カード企画官兼外国人住民基本台帳室長。現千葉市長。



鈴木 弘樹 氏 (学識経験者)

千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻 准教授
日本建築学会関東支部千葉支所幹事、柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)開設当初よりディレクターを務めデザイン部会座長を兼務、UDCK すみだ副センター長
2002年日本建築学会作品選奨(平等院宝物館)
2016年日本都市計画学会賞(UDCKで受賞)他 多数受賞



西山 芽衣 氏

株式会社マイキー ディレクター
1989年、群馬県生まれ。千葉大学工学部建築学科を卒業。まちづくりの企画プロデュースを行う(株)北山創造研究所に入社し、西千葉の地域活性化プロジェクトを担当する中で「HELLO GARDEN」「西千葉工作室」の企画・立ち上げを行う。場づくりに継続的に関わりたいと思い、2014年同社を退社し、「HELLO GARDEN」「西千葉工作室」の運営母体であるマイキーに入社。企画・コンテンツ開発・アートディレクション・人材育成など幅広いスキルを活かして、西千葉のみならず日本全国で人の日常の舞台となる場づくりと人々の創造的な活動のサポートに取り組む。



田中 章 氏

Bar そらのかけら 代表
SME Recordsより2000年にメジャーデビューしたバンド・「ハイパービーム」のギタリスト。2002年より「BAR sola」を開業 2008年に「BAR そらのかけら」をオープン。千葉市中央公園でのイベント、「食楽 ICHIBA」、「ちば YOSAKOI / ちば羽衣秋まつり」、ちば「YORU MACHI イルミネーションラウンジ」を企画・開催・運営



鈴木 一葉 氏 (大学生)

建築家の両親の影響で大学の建築学科へ進学するも、コロナ禍の影響でキャンパス生活を経験することができず、大学で学ぶ事の意味を見失い、現在は休学して国内を放浪し、「街から学ぶ」を体験中。



森田 敬介 氏 (建築家) [モデレーター]

(公社)日本建築家協会千葉地域会代表、森田建築設計事務所 主宰、企業組合 コミュニティフォーラム代表理事。
地域で活躍するアーティスト・インキュベーターの異業種コラボによる街づくりを展開。大正12年から続く千葉県の地サイダー「北総サイダー」の製造販売を受け継いでリターナブル瓶による持続可能な社会を推進。弁護士などの志の高い専門資格者と協働して空き家の困りごとを解決する「あき家プロジェクト」を北総地域の行政と共に展開。佐倉市の図書館新築をキッカケに「人が歩くまち」をめざす「まちなか閲覧室」のプロジェクトを進行中。



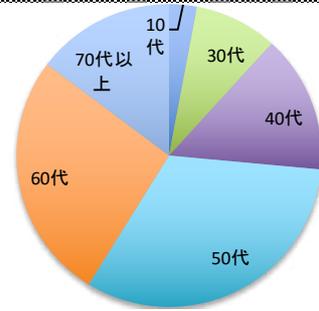
まちづくりフォーラム in 千葉 2022 アンケート集計結果

(一社)日本建築学会 関東支部 千葉支所

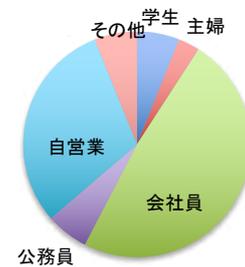
Q2 性別	男性	女性	その他
	27	7	0
	79%	21%	0%



Q3 年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	1	0	3	5	11	9	5
	3%	0%	9%	15%	32%	26%	15%



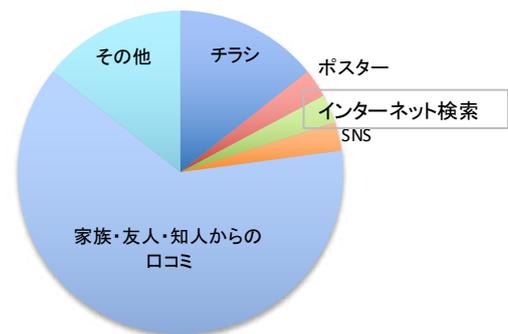
Q4 ご職業	学生	主婦	会社員	公務員	自営業	アルバイト	その他
	2	1	16	2	10	0	2
	6%	3%	48%	17%	83%	0%	6%



Q5 フォーラムをどこでお知りになりましたか？

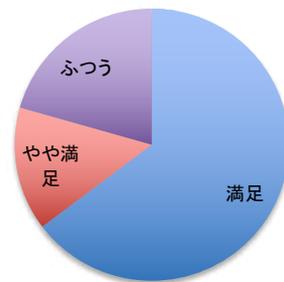
チラシ	ポスター	インターネット検索	SNS	家族・友人・知人からの口コミ	その他 ()
5	1	1	1	22	5
14%	3%	3%	3%	63%	14%

建築士会千葉支部からの案内メール
 職場
 メール連絡
 指導教授のプロジェクト



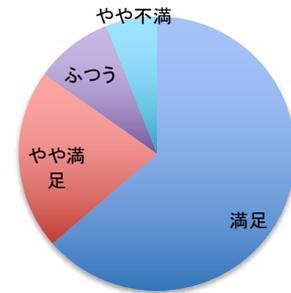
Q6 フォーラム全般(構成・日時・他)に対する満足度を教えてください。

満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
22	5	7	0	0
65%	15%	21%	0%	0%



Q7 パネルディスカッションに対する満足度を教えてください。

満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
21	7	3	2	0
64%	21%	9%	6%	0%



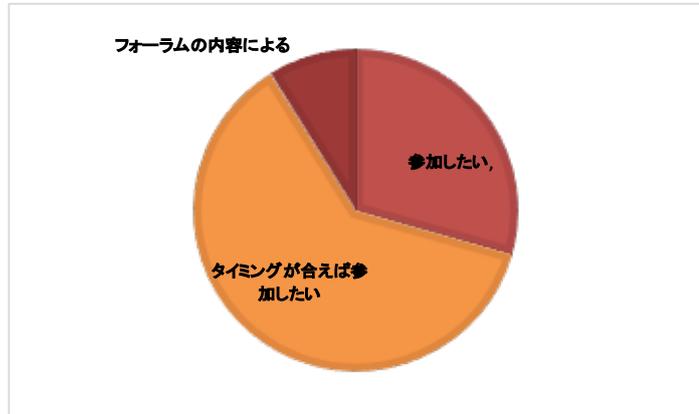
Q8 Q6・Q7でご回答頂いた理由についてお聞かせください。

例) 新たな気づき(発見)があった。知っている内容ばかりだった。スタッフの対応NG。等

- ・とても楽しいフォーラムでした。ありがとうございました。
- ・「フォーラム」といわれるものに参加することが初めてなので新鮮でした。
- ・沢山の情報が吸収できました。
- ・市長の柔らかい話が特に良かった。
- ・活動されているパネラーの方が、「人々の交流の中でアイデアを見つけていること」などは、今後の「まちづくり」を進める上での重要な要素だと感じた。
- ・地元で育ててもらい60歳も過ぎ、ゆっくり生きようと思っていたが、まだまだ地域のために自分が出来る事がありそうだ気付かせて頂いた。
- ・まちづくりに貢献しているイベント仕掛け人が面白い動きをしているのが、全くと言っていいほど知られていないのは残念と思う。世の中に知らせる何か方法はないのでしょうか？千葉市長さんが同席されていましたが、市の協賛について考えがあるのでしょうか？
- ・公共が所有する空間を様々なに利用する際の行政上の規則を乗り越えるための制度改正・工夫が重要だと思う。
- ・わかりやすい説明でとても為になりました。
- ・魅力あるまちづくりに一歩近づけるような気がしました。市民としてワクワクしています。
- ・若者の生き方のユニークさ・千葉市長のまちづくりへの意欲
- ・「まちづくり」とは、人のつながりをつくる事。エネルギーを集める事。千葉駅周辺の駐車場がその事を妨げている。
- ・高齢化している街の「まちづくり」についても話し合いを持ってもらいたい。
- ・千葉市の現況、これからの取り組み、各分野の方向性がよくわかりました。
- ・マイクの調子が悪かったのが残念であった。・話の内容は、知らない分野の題目ばかりで、大変参考になりました。
- ・様々な立場の話が聞けて面白かったです。また、意識の高い若い方がいらっして心強い気持ちです。
- ・産官学の連携ですが、いかに民間の資源を誘致できるがどうやって利益につなげるのか課題だと思います。
- ・行政、大学、民間と、まちづくりという点で活動の様子が聞けてとても面白かった。
- ・パネラーとして大企業の参加などもあったらと思います。まちづくりに参加してくれると良いと思う。
- ・知らない事も多く、ためになりました。パネリスト選定も良かったと思います。
- ・オーバータイム
- ・テンポの良いいろいろな話が聞けて良かったです。まちづくりをしている方々、行政、そして研究者の立場が違う意見が面白かったです。
- ・田中さんを軸にした進行のためか、日常をつくる「まちづくり」より、軟1階の「ポイント的」なまちづくりになってしまったのが残念。
- ・進行が良くなく、そもそもディスカッションになっていなかったのが残念。
- ・理論ではなく生の声が聞けた。
- ・市長の「管理」から「モチベーションづくり」をしていくとの話に共感する。まちづくりは関心を持つ人を増やしていくことから始まると思っ
- ・田中さん やってる人は、言い訳を楽しく楽しんでいる。地元の商店街の人たちは出来る事の理由を探す。

Q9 次回もフォーラムに参加したいと思いますか？

参加したい	タイミングが合えば参加したい	どちらともいえない	フォーラムの内容による	参加したくない
10	21	0	3	0
29%	62%	0%	9%	0%



Q10 今後のフォーラムで知りたい情報等、ご要望がありましたらお聞かせください。

例) 今後知りたい学びたい〇〇について、パネラーへのコンタクト、平日に開催希望 など

・DXに対する取り組み・成田空港に来る外国人観光客の取り込み
・国内における様々な官民連携の事例について知りたい。
・本日の動画をYouTubeなどで公開して欲しい。
・建築＝創造と思うので、創造的ジャンル(例えば芸術とかスポーツとか…)とのコラボレーションで企画するのも面白いかと…。
・パネラーと参加徴収との懇親・接点がつくれる時間が欲しいかな？
・平日に開催希望
・具体的な事例、まちづくりの活動など
・住み続けている老人と、新しく入ってくる若者を繋げるにはどうしたらよいか。+外国人
・設営お疲れ様でした。ぜひ、定例にして頂ければと思います。
・スマートシティや高齢化社会のまちづくり
・パネラーへのコンタクト※途中で会場の冷房が効きすぎて寒かったです。
・街の活性化はイベント、祭りかも知れない。楽しめることが大事。市民が中心(主役)にいなければならない。
・まちづくりのゴールって何？ とりあえず成功例とか目指す街を示して欲しい。千葉市には何がある?! あるものを武器にする。

千葉市の未来語り合う

まちづくりフォーラム

日本建築学会

神谷市長が 基調講演

「まちづくりフォーラムいよ 千葉2022」が10日、千葉大学で開催された。「あなたの力が千葉になる」と題し、神谷俊一千葉市長の基調講演やパネルディスカッションを通じて、千葉市の未来を見据えた、魅力あるまちづくりの方向性を探った。

このフォーラムは日本建築学会関東支部千葉支所が主催。寺川典秀支所長は「皆さんの家族や友人にフォーラムの内容を伝えてもらえると、まじの見える方が少し違ってくるのでは」と期待を込めた。



千葉大学で開かれたまちづくりフォーラム

神谷市長が基調講演。新型コロナウイルス感染症の影響で、東京都東部や千葉県北西部からの転

入が増加するなど、転入超過の傾向が強まっている状況を説明し、「これまでの成長モデルから新たな施策の展開が必要」と強調した。

道路ネットワークの強化に向け、抜本的な渋滞対策の必要性を訴え、検見川・真砂スマートICや検見川立体、新たな湾岸道路計画、国道357号湾岸千葉地区改良(蘇我地区)の6車線化、堀田町菅田町線(堀田町地区)を推進していく考えを示した。



神谷市長



寺川支所長

このほか、具体的な施策として▽官民連携方式の産業用地確保▽幕張新都心のまちづくり▽都市公園への民活導入によるリニール小・中学校のトイレ改修(洋式化・ドライ化)▽新病院の整備などを挙げた。日本建築家協会千葉地域会代表の森田敬介氏がモデレーターを務め、さまざまな分野でまちづくりに関わるパネラー5人を招き、パネルディスカッション。

千葉大学大学院准教授の鈴木弘樹氏は、千城台地区で進められている学校跡地のまちづくりを紹介。「都市は使い捨てのものではなく、みんなで作っていきっていくもの。みんなの1つ1つの関心が力になり、街になる。五感で楽しめるまちづくりを進めてほしい」と話した。

千葉大学建築学科を卒業し、まちづくりをプロデュースする西山芽依氏は、地域との対話やさまざまな人の悩みを聞くなかで、その課題を解決するためのまちづくりをサポートしていることを紹介した。

栄町でバーを営む、千葉市中央公園などでイベントを企画・運営する田中章氏は「まちの一員として自分に何ができるか」を考え、一つ一つ結



パネルディスカッションを開催

けてきた結果、まちづくりに関わることになった経験を披露した。建築学科の鈴木一葉氏は、コロナ禍の影響などにより、大学を休学し、国内を放浪しながら一街から学が「これを体験して